

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

11月は児童虐待防止推進月間です

「いちはやく 知らせる勇気 つなぐ声」

11月は児童虐待防止推進月間とされ、児童虐待のない社会をめざして様々な取組みが行われています。1日の朝、布施駅・八戸ノ里駅・瓢箪山駅で東大阪市要保護児童対策地域協議会主催の街頭キャンペーンが行われました。東大阪市要保護児童対策地域協議会は、教育委員会を含む教育や福祉、医療など計37機関で虐待の防止を目的に組織された協議会です。キャンペーンでは、児童虐待防止リーフレットや子育て講演会の案内、オレンジリボンなどを配布しました。オレンジリボンには、子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。また、15日・16日・21日には、市内各所にて、児童虐待防止の啓発活動「オレンジリボンウォーク」も開催予定です。



て講演会の案内、オレンジリボンなどを配布しました。オレンジリボンには、子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。また、15日・16日・21日には、市内各所にて、児童虐待防止の啓発活動「オレンジリボンウォーク」も開催予定です。

児童虐待は、虐待の発生予防、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまでの切れ目のない総合的な支援が必要とされ、社会全体で解決すべき問題であり、無関心にならないことが大切です。

市立学校園は、子どもたちの出席状況や健康状態、服装や言動など発信されるサインを日ごろから把握できる重要な役割を担っています。教育委員会は、学校や関係機関と連携し、今後もそのサインを見逃さないよう努めています。

児童虐待防止推進月間にあわせて、子育て講演会が開催されます

中学校国語科教諭として30年以上教鞭をとり、現在は教育アドバイザーとして、テレビ・ラジオ出演、講演会、執筆等多岐にわたり活躍されている下地先生に、夢を持ち続けることの大切さや、子育ての悩みについてお話いただきます。

『子どもがいうことをききません…』 『勉強をしません…』 など

そんなお父さんやお母さんがよく抱えるお悩みに、ひとつずつお答えいただきます。



日 時：11月29日（水）午後2時～3時30分
会 場：東大阪市立男女共同参画センター
イコーラムホール

申込・お問い合わせ先
東大阪市子どもすこやか部子ども見守り課
電話 06-4309-3197 FAX 06-4309-3817

- 参加定員：200名（先着順・要申込）
- 一時保育定員：30名（先着順・要予約）
- ※事前にお申し込み下さい。
- 手話通訳有

学力向上支援担当者連絡協議会

10月20日、24日の2日間に分けて、学力向上支援コーディネーターを対象に連絡協議会を行いました。

はじめに、「次期学習指導要領で求められるもの」をテーマに、今後の社会の変化を鑑みた上で、学習指導要領改訂の背景や方向性等について確認しました。特に、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、効果的なめあてや振り返りの実施、深い学びにつながる質の高い対話的な活動、身に付けさせたい力の明確化等、日々の授業でどう改善していくかという点について、共通理解を図りました。

次に、各学校の学力向上の取り組みや、学校内の教職員で共有していること、全国学力・学習状況調査等の分析から見えてきたもの等について、グループごとに交流を行いました。

最後に、全国学力・学習状況調査の結果から見えた東大阪市の現状や課題と「焦点化した分析方法」（学校が課題としている点に関連する問いに絞り、その中でも特に児童生徒の誤答に注目し、そこから授業づくりにつなげていく手法）について、共通理解を図りました。



参加者からは「一つ一つの授業の中で、常にゴールを見通して、確実なねらいを立てることが、子どもの学びという点で大切だと分かった。」「全国学力・学習状況調査の課題分析を授業づくりに活かす具体的な手立てがとても参考になった。」「他校との実践交流がとても良かった。学力向上通信を発信する際、内容や話題をどうするかという点で、担当者として学校の課題等を日々意識しておく必要があると感じた。」などの感想が聞かれました。

参加者にとって、日々の授業や今後の教育活動に向けてのヒントを得る実りある協議会となりました。

平成29年度

「専門家派遣指導による中学校・高等学校音楽クラブ活性化推進事業」



東大阪市立学校の音楽クラブの活性化をはかる活動の一環で、関西フィルハーモニー管弦楽団のプロ演奏者の方々が、3年間ですべての東大阪市立中学校、日新高等学校を訪問してくださいました。最後の年となる今年は7月から10月にかけて、中学校8校と日新高等学校の吹奏楽部を訪問し、約2時間、パートごとに分かれて演奏指導をしていただきました。はじめは緊張していた生徒たちも、プロの演奏に魅了されながら、実演をもちこんだわかりやすい指導のもと、少しでも指導内容を自分のものにしようと、悪戦苦闘しながらも懸命に演奏に取り組んでいました。生徒からは「プロの方みたいにかっこよく演奏したい」との声もありました。目を輝かせ演奏していた生徒たちの今後の活躍に期待しています。



<生徒からのアンケートより>

- ・自分たちが分かっていないことを教えていただき、とても役に立ちました。
- ・合奏の練習では、教えてもらう前と後では、より良くなっていると感じました。
- ・質問したことに対して丁寧に答えていただき、これから練習で試してみようと思いました。
- ・息の入れ方やタンギングの仕方など、やさしく、分かりやすく教えていただきました。